

第14回

らくぶん
楽文コンテスト

各賞受賞作品発表!!

君が大好きなこと

君の家族のことや友達のこと、

大好きなお祭や夢中になっている事。

いろんな君の『大好き』を教えてください。

詩・作文・歌、君にあった方法でかまわない。

一行でも、誤字・脱字、

ぜんぶひらがなでもOK。

じょうずじゃなくても。

そう、「楽文」でいいんです。



◎主催 NPO特定非営利活動法人 博多の風

◎特別協賛 NTT docomo

◎協力 博多祇園山笠振興会、(株)毎日新聞社、RKB毎日放送(株)

◎選考委員 豊田侃也氏(博多祇園山笠振興会 会長)
岩松 城氏(毎日新聞社 西部本社 編集局長)
永守良孝氏(RKB毎日放送 代表取締役会長)
沢田幸二氏(KBC九州朝日放送 パーソナリティ)
大庭宗一 (NPO博多の風 理事長)

◎協賛 西部ガス(株)、西日本鉄道(株)

◎後援 福岡市、福岡市教育委員会、福岡商工会議所
(社)九州経済連合会、(株)岩田屋三越、九州電力(株)
九州旅客鉄道(株)、(株)九電工、コカ・コーラウエスト(株)
(株)西日本シティ銀行、NTT西日本福岡支店、(株)福岡銀行
[順不同]

第38号
平成26年11月発行

近年の活動

※設立からの詳細はホームページをご参照ください
http://hakanokaze.jp

平成25年

- 4月 第30回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:前田 敦氏(西南学院大学法学部准教授)
- 5月 第23回 はかたの町クリーン作戦 実施
- 6月 第12回 追山コース探訪 開催
第13回 楽文コンテスト 開催
- 10月 第24回 はかたの町クリーン作戦 実施
- 11月 第31回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:松本 龍氏(元環境大臣)

平成26年

- 4月 第32回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:大庭 宗一氏(NPO博多の風 理事長)
- 6月 第13回 追山コース探訪 開催
第14回 楽文コンテスト 開催
- 11月 第33回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:八木 繁氏
(九州電力株式会社 原子力コミュニケーション本部部长)

NPO博多の風の歩み

- 設立
平成10年 9月
任意団体『博多の風』設立 代表:大庭宗一
- NPO登記
平成12年 6月
『NPO博多の風』として登記 理事長:大庭宗一

NPO博多の風事業概要

- 啓発事業
・博多の風フォーラム開催
・広報誌・HP発行
・毎日新聞世論フォーラム公聴
・作文コンクール(楽文コンテスト)開催
- 地域環境向上事業
・博多の町親交
(清掃活動クリーン作戦・冷泉小学校跡地提言・山笠文化継承)
- 活性化事業
・書籍出版
・博多祇園山笠の振興
・追山コース探訪開催
- 協力事業
・各市民団体との情報交換及び支援

NPO特定非営利活動法人



〒812-0027
福岡市博多区下川端町8-16 -302
FAX 092-263-7188

E-Mail info@hakanokaze.jp
URL http://hakanokaze.jp



博多祇園山笠振興会賞

陸上競技と自分

●香椎第3中学校1年

千鳥 晃輝

走るたびに記録が更新されたり、課題が見つかったり、また、結果全てが今の自分を証明する、こんな魅力がある陸上競技に、今、僕は夢中になっている。

昔から走るが好きで、周りより足が速い自信があった僕は、陸上競技部に入部した。しかし、その自信も最初の大会でほとんどなくした。それと同時に「甘くないんだ」と痛感した。

その大会での僕のタイムとトップとのタイム差は約1秒。次の大会でも、組のトップと1秒以上の差があった。改善すべき点は見つかったが、今すぐは改善できない点も少しあった。「体格」と「経験」だ。トップに勝つためには、この二つ以外に「技術」「筋力」「体力」で補わなければならない。

まずは、「技術」。トップと比べて体格が小さい僕は、接地時に力強く地面を叩けないため、反発が小さい。反発が小さいと、ストライドが伸びないなど悪循環になる。

また、この反発の大きさは、「筋力」も関係している。筋力がないと接地時に発揮できる力に差が出る。それに体が弱いと走るときに体の軸がぶれ、しつかり力が出せない。

最後は「体力」。僕は、前半に比べ、後半の走りのスピードが非常に遅い。つまり、前半上位と争っていても、だんだん離されていき、勝つことが難しいということだ。

ここまで、僕の走りの欠点を挙げていったが、欠点が多いということは、勝てる可能性があるということだ。この欠点を一つずつなくしていき、新しいフォームで中体連を走ったのだが、大きな収穫があった。僕より速い人とリレーで走ったのだが、あまり差を詰められずに走りきれた。つまり速くなったということだ。正直嬉しかった。それに、次の大会がすぐ楽しみになった。

よく、違う部活の人から、「陸上部って、走るだけなのに楽しい？」と聞かれることがある。確かに走るだけなのかもしれない。でも「走る」という動作は、ほとんどのスポーツに必要な動きだ。なので、今後に活きるし、百米走でいえば、たった十数秒の中にたくさん息を吐いて詰まっている。そう考えていると面白くないわけがない。冒頭でも書いたが、陸上競技にはたくさん魅力があり、その魅力に、ぼくも引き込ま

山笠を陰で支える人々

●千代中学校1年

戸田 郁乃

私が好きなことは山笠です。私は、小学5年生まで山笠に出ていました。4年生までは、ずっと前走りとして参加していたけど、5年生になったら子ども山笠の後押しに参加しました。ちよっときつかったけど楽しくて、いい経験になりました。

山笠の魅力は、子どもからお年寄りの方々まで、地域で一致団結できることだと思います。「オイサ」という掛け声で、みんなが団結している感じがします。

さて、みなさんは「ごりよんさん」という人を知っていますか。ごりよんさんとは、山を昇って帰って来た男衆に、料理をふるまったりする人のことです。実は、山笠はごりよんさんという存在があるから成り立っているのです。ごりよんさんは、ただ、料理をしているだけではありません。

発表！ 第14回楽文コンテスト 入賞者

毎日新聞社賞

- ・「大好きなサッカー」 原北中学校2年 是方 佑斗
- ・「歌うこと」 和白丘中学校2年 湯村 沙織
- ・「私がお好きなこと」 箱崎清松中学校3年 岸本 未央
- ・「私がお好きな韓国」 箱崎清松中学校3年 水城 のあ
- ・「動物たちの笑顔」 平尾中学校3年 吉田 絢

RKB毎日放送賞

- ・「対馬丸の出来事」 西高宮小学校4年 長濱 歩実
- ・「かれと山笠とわたし」 博多小学校5年 大村 結子
- ・「わたしが大好きなこと」 原小学校5年 宮野 帆夏
- ・「私の大好きなこと」 西高宮小学校6年 井上 遥
- ・「なぜって？」 七隈小学校6年 井手 蘭月

博多祇園山笠振興会賞

- ・「陸上競技と自分」 香椎第3中学校1年 千鳥 晃輝
- ・「山笠を陰で支える人々」 千代中学校1年 戸田 郁乃
- ・「色彩のようなものー音楽」 照葉中学校2年 井上 綜太
- ・「私の好きなこと」 高取中学校2年 福岡 彩香
- ・「一期一会」 和白中学校2年 和松 龍樹

NTTドコモ賞

- ・「子ども山」 博多小学校2年 大迫 紀直
- ・「大きなお母さん」 原北小学校3年 瀧内 麻央
- ・「大きな家族」 和白東小学校3年 松山 芽唯
- ・「好きな人」 西高宮小学校4年 小松希良々
- ・「野球」 赤間小学校5年 菰口 隼

NPO博多の風賞

- ・「読書から学んだこと」 香椎第3中学校1年 前島ののか
- ・「私の好きな部活」 照葉中学校2年 今里 茉央
- ・「次は絶対やってやる」 香椎第3中学校2年 松野 裕香
- ・「ばあちゃん」 箱崎清松中学校3年 森川 亜美
- ・「私の大好きなもの」 箱崎清松中学校3年 吉原 枝里

せん。料理の中に、疲労回復やスタミナがつく食材を取り入れてメニューを考えることから始まり、料理を作って、男たちに振る舞い、後片付けをして・・・。ごりよんさんはとても大変なのです。

ごりよんさんという存在はあまり有名ではないですが、ごりよんさんは、山を昇って疲れて帰って来た男衆に体を癒してもらうために一生懸命にがんばっています。私は、陰で山笠を支えている、そんなごりよんさんがカッコいいなと思いました。そして、そんなごりよんさんになりたいなと思いました。

私は生まれてから5年生まで、実際に山笠に出て、山笠に関わっていました。これからは、もう、山に出ることはできないので、ごりよんさんとして男たちを陰で支えるということ、山笠に関わっていききたいなと思いました。

私の町内では、昔、近くに商店街があって、男たちが山に出る間、女性たちが店番をしないといけないくて、ごりよんさんがおらず、男たちがごりよんさんの仕事をしていました。そして、今その風習が受け継がれて、山から帰って来た男の人たちが料理を振舞ったりしています。男の人たちは、山を昇って疲れていそうなのに、頑張って料理を振舞っているから、私がこれからは、男の人たちの手伝い

をして、男の人たちにもっと休んでもらえるようになりたいです。

近などころで流れているBGMや効果音などをピアノで弾いてみても楽しいし、好きな曲を好きにアレンジして弾くのも楽しい。もっと練習や勉強をすれば、自分で作曲してもいいと思う。音楽は、楽しみ方も幅広い。

私は山笠が大好きだけど参加できないので、これからは男の人たちがごりよんさんしているのを手伝いすることをがんばります。

色彩のようなものー音楽

●照葉中学校2年

井上 綜太

僕は、音楽が大好きだ。5歳からピアノを習い始め、今は吹奏楽部に入っている。

今、世界には、クラシック、ポップス、ジャズ、民族音楽など、様々な音楽があるが、僕は、色々なジャンルの音楽が好きだし、音楽に色々なジャンルがあること自体が好きだ。それぞれのジャンルに歴史があり、ドラマがあり、たくさんの曲があり、そして、今も演奏され続けているのだ。それを思うと、好き嫌いを問わず、すべての音楽に興味を湧いてくる。

ぼくは、音楽を聴くことも好きだが、演奏することはもっと好きだ。自らの手によって音楽を生み出せる喜びや楽しさもあるし、何より、自分の演奏したい音楽ができることが楽しい。好きな曲の楽譜を買って弾いてもいいし、身

このように音楽が大好きな僕だが、最近、「音楽って何だろう。」と考えることがある。僕は音楽についてどう思う。

音楽は、今、生活の中の至る所に存在している。(家電や信号機など)でも、音楽がないと生活をしていけないわけではない。音楽関係の仕事に就いている人もたくさんいるが、音楽が世界に、もし、なければ、別の仕事に就いているだろうから、音楽がなくても人は生きていける。

でも、僕は、世界に音楽がないと、大変つまらない世界になると思う。他の動物にはない、人類の最も素晴らしい芸術の一つを失うのである。それに、聴覚を使った芸術というのも数少ないし、昔から他の文化や政治の影響を受けながら進化してきたものだ。そんな「無くても大丈夫だが、無いとつまらない、あつたほうが面白い」音楽のことを、「色彩」の様だと僕は表現したい。世界の中で「色彩」は、視界をより鮮やかにし、色々なものの区別をつける大事な存在だけれど、音楽と同じように、無くても大丈夫だ。

白黒だけの映像や画像も趣があるけれど、やはりカラーの方がきれいだ。その「色彩」のように大切だが必要でもない音楽の、絶対必要不可欠ではない気楽さも、僕は好きなのだろう。

また、長編小説「ハリー・ポッター」シリーズの中で、偉大な魔法使いダンブルドアが、「音楽とは何にも勝る魔法じゃ。」

私の好きなこと、それは「話す」ことです。

私の好きなこと

●高取中学校2年

福岡 彩香

これからも、生活に欠かせないもので、私に新しい自分を気づかせてくれる、そして、成長させてくれるものだと感じます。私は、これまでの経験から、そう思いました。

新学年、新しいクラスでのスタートを切ります。そんな新しい学校生活の始まりに、不安を持っている人、目標を立て「がんばろう。」と思っている人、楽しみにしている人、人それぞれだと思います。私は、「新しいクラスに始めるかな・・・。」と不安でしたが、まず、周りの人への挨拶から始めました。

はじめは、挨拶にも緊張していました。毎日挨拶をしているとだんだん緊張しなくなり、相手からも挨拶してくれることも多くなって、挨拶から日常生活の会話へと、話題が広がっていききました。最初は、お互いの部活や、習い事、趣味の話を重ねていきます。それから、話題が広がると、話す機会が自然と多くなり、たくさん話を聞いたり、「話す」うちに、友人だけでなく、自分の新しい一面も発見することが出来ます。

一期一会

●和臼中学校2年

松本 マツモト 龍樹 リユウジュ

また、話をすることで元気を取り戻せたこともありました。私が悩んだり、不安に思っていたことを相談したとき、真剣に話を聞いて、一緒に考え、「大丈夫だよ。」

「がんばって。」

と言ってくれた励まし言葉で、悩みや不安を乗り越えることができました。

また、嬉しいことや楽しいことがあったときには、自分のことのように喜んで、

「良かったね。」

と言葉をかけてくれる友達と喜びを分かち合うことができました。

自分の気持ちを伝える。それは、簡単なようで、すごく難しいと思います。言葉は、多すぎても少なすぎても気持ちには伝わりません。

日々、どう相手に伝えるかを考え、それを言葉にして「話す」ことで、気持ちを伝え、成長しているのだと思いました。

これからも、「話す」ことを楽しみ、成長していきたいと思っています。そして、「話す」ことを通じて、さまざまな国の人とコミュニケーションをとるなどして、新しい挑戦をし、「話す」ことをもっと好きになっていきたいと思っています。

この後、私は「話す」ことを通じて、さまざまな国の人とコミュニケーションをとるなどして、新しい挑戦をし、「話す」ことをもっと好きになっていきたいと思っています。

と、僕を馬鹿にするように笑ってきた。僕はムツとした。

でも祖父は、その後、ズボンとパンツを手洗いしてくれ、「もう、もらすなよ。」

と言った。という今でも笑ってしまいう面白い出がある。祖父は、僕の将来の事も大変心配してくれていた。僕に会うたびに、

「勉強しようるかあ。」

とか、

「今勉強しとかなんと、将来、貧乏するぞお。」

とたくさん気にかけてくれた。今でもその言葉は声と一緒に覚えている。

祖父の死後、ある日、僕は祖父の家で祖父の部屋へ行った。そこには、僕の写真がたくさん飾られてあった。僕はそれを見て、「祖父はこんな僕を可愛がってくれたんだな。」と思い、涙が出そうになった。こんなにも僕を可愛がってくれてたなんて・・・

僕が祖父の死で学んだことは、一つ一つの人の関わり合いを大切にすること。一期一会だ。

なぜそう思ったかというところ、さつき書いたとおり、僕は祖父と仲が良くなかったため、もつと仲良くしてればよかったと後から悔やんでしまい、一生の後悔になる。

だから、僕は、人との関わりを大切にしていきたいと思っただけだ。

毎日新聞社賞

大好きなサッカー

●原北中学校2年

是方 コレカタ 佑斗 ユウト

僕の大好きなことは小学三年生のころからしているサッカーです。しかし、サッカーを始める前まではサッカーはどちらかというと好きではありませんでした。でも一度練習に行くとなんとなく楽しく、試合などを重ねるごとにサッカーを好きになっていきました。そして僕がサッカーを好きになった理由は二つあります。一つ目の理由は、努力をすることができるようになることです。例えば、公園ですら練習し、練習してよかったと思えます。そして僕が練習してよかったと思えたことの一つにリフティングがあります。僕のかよっていたクラブではリフティングを百回できないと試合にでれないと言われてしまいました。僕はリフティングが百回もできなかったのですがその日から毎日練習し、今では三百回できるようになりました。そして今でもいろいろなことに挑戦しています。

二つ目は、柔道です。私は柔道を習っています。習い始めたきっかけは父のなげな一言でした。「パパ、柔道していったんだよ。めっちゃ強かったよ。未央もしてみたら？」こんな言葉でした。その時は「やってみよう！」と、思っていました。ですが、見学に行くと、とても大きい人たちが「バンバン」と激しくあたって打ち込みをしていました。すごく恐かったのを今でも覚えていてます。母に帰りながら「やめとこっか。」と、言われました。でもなぜか、「したい！」と答えました。私は、弱虫で泣き虫でスポーツもしたことなかったのに母はとてもしつくりしてました。

それから、一か月ずつと端の方で受け身の練習をしていました。人見知りでも内気な性格の私でしたが、今では、柔道を通して精神力がきたえられ、前向きな性格にも変われたと思います。段々と練習を重ねるにつれ、力もついてきて、初めは全く勝てずにいましたが、勝てるようになってきましたし、試合にも出させてもらえるようになりました。柔道はきついけれど、とてもやりがいのあるスポーツです。五年間、一度も柔道をしていて後悔したことはありません。今年の夏は県大会に行くことが出来ませんでした。とても充実していません。五年間一度も欠かさずに送り迎えをしてくれた母には感謝しかありません。試合で負けた時は優しくなぐさめてくれました。母の支えがあったからこそ続けられました。私は、柔道をしていて良かったと思います。大好きな事はちっぽけかもしれませんが、私に合ったことなので、かけがえのないことな幸せたちを大切に、人に優しく、周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに日々精進していきます。

活の態度をしつかりとする必要があります。なので、僕はこのチームがこれからも応援されつづけ、勝ちつづけられるチームになれるようにするため、このチームのためにできることを進んでやろうと思います。

歌のこと

●和臼中学校2年

湯村 ユムラ 沙織 サオリ

私が大好きな事は歌う事です。理由は、歌うと気持ちがスツキリするし嫌なことがあってもケロッと忘れられるからです。私は短気な性格なので一年生が春に入部してきてからはずっとイライラして毎日ストレスがたまっていました。なので家に帰ってお風呂の中で他の家に聞こえるのも気にせずに熱唱しました。すると、お風呂から出るころにはすっかりイライラがおさまっていました。

学校から帰って来る時もいつも歌を口ずさんでいます。さすがに外で大声で歌うのははずかしいので帰る時は小さい声で歌っています。そして人が全然通らないけど明るい道で帰ります。家に着いてお

私が大好きなこと

●箱崎清松中学校3年

岸本 キシモト 未央 ミオ

私が大好きなこと、それは二つあります。一つ目は、家族とみんなそろって食事をすることです。私は、家族が大好きです。学校や友達のことなどでなやんでいた時もいつも助けてくれます。おかげで一人で不安をかかえ込むこともありません。私にとって家族は心安らぐ居こちのいい場所です。ですが、父は仕事で帰りが遅い時が多々あります。妹や私も柔道で帰りが午後九時になり、先に夜ご飯を食

るので、家族全員で食事をするのが、土曜日と、日曜日しかありません。でも、その時間が私は毎回、とても楽しみです。家族の良さを改めて感じる事ができる時間です。学校での出来事を話したり、最近のニュースについて話したりし、とても充実した時間です。私の家族は、食事話だとだえることなく笑顔であふれています。これからもこの習慣が続くと良いと思います。ですが、限りある時間なので大切にしたいです。

二つ目は、柔道です。私は柔道を習っています。習い始めたきっかけは父のなげな一言でした。「パパ、柔道していったんだよ。めっちゃ強かったよ。未央もしてみたら？」こんな言葉でした。その時は「やってみよう！」と、思っていました。ですが、見学に行くと、とても大きい人たちが「バンバン」と激しくあたって打ち込みをしていました。すごく恐かったのを今でも覚えていてます。母に帰りながら「やめとこっか。」と、言われました。でもなぜか、「したい！」と答えました。私は、弱虫で泣き虫でスポーツもしたことなかったのに母はとてもしつくりしてました。

それから、一か月ずつと端の方で受け身の練習をしていました。人見知りでも内気な性格の私でしたが、今では、柔道を通して精神力がきたえられ、前向きな性格にも変われたと思います。段々と練習を重ねるにつれ、力もついてきて、初めは全く勝てずにいましたが、勝てるようになってきましたし、試合にも出させてもらえるようになりました。柔道はきついけれど、とてもやりがいのあるスポーツです。五年間、一度も柔道をしていて後悔したことはありません。今年の夏は県大会に行くことが出来ませんでした。とても充実していません。五年間一度も欠かさずに送り迎えをしてくれた母には感謝しかありません。試合で負けた時は優しくなぐさめてくれました。母の支えがあったからこそ続けられました。私は、柔道をしていて良かったと思います。大好きな事はちっぽけかもしれませんが、私に合ったことなので、かけがえのないことな幸せたちを大切に、人に優しく、周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに日々精進していきます。

私が大好きな韓国

●箱崎清松中学校3年

水城 のあ

「韓国」という国の名前を聞いて、あなたはどう思いますか。反日、気が強そう、マナーが悪い、などとテレビなどで見た情報を鵜呑みにしている人もいると思います。ですが、私は韓国が大好きです。私が韓国を好きになったきっかけは二つあります。

一つ目はK・POPが好きだからです。私は2010年に日本にやってきた「韓流ブーム」でK・POPに興味をもつようになりまし。私がお好きになったグループを始め、いろんなグループを見ていくと、ファンの方への愛情、礼儀などが感じられ、テレビで放送されているような悪い人はほとんどいません。

二つ目は、韓国文化です。韓国文化といっても韓国料理や伝統衣装のことではありません。「目上の人に対する礼儀」です。韓国人は、最近の日本では少なくなってきた「年長者を敬う気持ち」があります。韓国ではまず、初めて会った人には年齢を聞きます。日本では、初めて会った人に年齢を聞くことはとても失礼なことですが、韓国では年功序列が厳しいので、たつて普通のことなのです。年上で親しい人には、自分が弟

だった場合は、「ヒョン(兄)」「ヌナ(姉)」と呼び、自分が妹だった場合には、「オッパ(兄)」「オンニ(姉)」と呼びます。韓国で目上の人を呼ぶときに相手の名前を呼ぶなんてことは絶対にありません。また、韓国人は、会食の席では家の主人や目上の人

が食べ始めたら、自分も箸をつける文化があります。日本の文化と共通している部分もあります。それは、「電車やバスでお年寄りに席をゆずる」。これは誰もが知っているルールです。ですが、日本で席をゆずらない人はたくさんいます。韓国では席をゆずらないなんて、言語道断。他の人から「席を代わりなさい」と注意されるぐらいです。このような韓国の厳しい縦社会は日本も見習うべきではないでしょうか。

これらの理由を聞いて、あなたはどう思いましたか。私だけに限らず、他に韓国が好きな人も、これらが理由なのではないでしょうか。

私は将来、韓国語の通訳を目指しています。だから、日本と韓国が仲良くなり、「近くて遠い国」から「近くて近い国」になれば良いと思います。

動物たちの笑顔

●平尾中学校3年

吉田 絢

「動物の楽しそうなところを見る」これが私の大好きなことです。犬が楽しそうに走っているところ、猫が楽しそうに猫じゃらしを追い回しているところ、このようなところをみると自分まで楽しくなってきました。動物は本当に楽しい時、笑います。嘘かと思っても、これも本当のことなのです。例えば、私の家で飼っている犬は一人留守番させたとき帰ってきて名前を読んであげると、しっぽを大きく振ってとびきりの笑顔で迎えてくれます。おやつをあげると笑う犬、話しかけると笑う鳥など動物たちの笑うタイミングはさまざまです。私はこの笑顔がとってもとっても大好きです。少しでも多くの動物たちの笑顔がみたいです。

しかし、笑顔をなかなかみることができない動物たちも多くいます。私は二つの心の病気に興味を持って調べたことがあります。

一つ目は、喪中症という病気です。人間がペットを失って悲しむペットロス症候群という病気がありますが、喪中症はその逆です。飼い主さんを失った悲しみを乗り越えられない病気で。私も夏休み

に、飼い主さんと別れ新しい飼い主さんのおうちに来たという犬に会いました。新しい飼い主さんにはじめて会ったときは本当に一人ぼっちだったそうです。しかし、今は新しい飼い主さんに優しくされて、私にも笑顔をみせてくれました。

二つ目は心的外傷後ストレス障害という病気です。PTSDと呼ばれることもあり、人間もなる病気です。虐待を受け悲しむ動物が多くいます。そのような動物たちは心を病み、優しい性格さえも変わってしまうことがあります。

私は、このような動物たちをみると悲しくなるし、飼い主さんが許せなくなり、飼い主さんが許せなくなり、だから、私の夢は心の中が悲しみでいっぱいになった動物たちの笑顔をとり戻すことです。一度、心に大きな傷を負った子を元気にすることは決して簡単なことではありません。でも、私は自分が大好きな動物たちの笑顔をみるためにも苦しんでいる動物たちを助けたい。そして、笑顔でいっぱいにして私以外の人もいやされてほしいです。

最後に、この作文を読んでもくださった方々にも動物のことを少しでも知っていただけたらいいと思います。

大好きなお母さん

●原北小学校3年

瀧内 麻央

お母さんは、わたしのわきの下をこちょこちよする。

お母さんは、あついときにエアコンをつけてくれる。

お母さんは、わたしがかなしいときいつも声をかけてくれる。

お母さんは、わたしが何かをがんばったときにほめてくれる。

お母さんは、わたしがかいた絵を、「これどう?」ときくと、本音をいつてくれる。

お母さんは、わたしがいつもでもねむらないと、「あゝもう」と独り言をいう。

お母さんは、わたしをぎゅつとしてくれるけど、しばらくすると「あつい」といつてにげる。

お母さんがしごとでないときは、おかあさんのまくらにぎゅつりしてしちゃう。お母さんのおいが大すき。

わたしはけっこうしないで、お母さんのそばにいるんだ。そうしたら、おはかもいつしよに入れるね。

大好きな家族

●和白白小学校3年

松山 芽唯

わたしの家族はいつも元気です。

わたしの大好きな家族をしようかします。

まずはじいじです。じいじはとてもものしりです。ばばやママがしらないこともいつています。

次はばあばです。いろいろお世話になっていて、やさしいです。スイミングスクールにも、よくつれていつてもらっています。

こんどはばばです。とてもやさしいです。ふしぎなことなんです。ばばは、みかんをたべたらあせがでる人です。すっぱいからだそうです。

それから、おにいちやんは、いつも元気です。ちよつと元氣すぎる時もあるおにいちやんは、わたしをよく、おこります。でも、お母さんが、「あなたが生まれてきた時から、おにいちやんは、あなたをかわいがっていたのよ」といつています。

さいごはママです。わたしの大好きなママは、おりょうりがおもしろいです。

ママのつくったおりょうりは、わたしにとって、せかい一おいしいです。とくにいちばん好きなのがグラタンと、ハンバーグです。肉じゅうが

大好きな人

●西高宮小学校4年

小松 希良々

わたしは、特別な人。世界にたった一人しかいない特別な人。

わたしは、わたしが、大好き。わたしは明るくて、いつも輝いている。

おこられるとしょんぼりしてしまふ時もある。でもそんな、わたしも大好き。

理由は、明るいし、いつも心があったかくしているから。小さいころの、ビデオを見たら、かわいくて、おもしろいわたしだった。その時も、すつごく楽しいわたりだった。そしてもちろん、今、現在のわたしも大好き。わたしは、

N-TODD「モ賞

子ども山

●博多小学校2年

大迫 紀直

「あつたかい!おもしろい!」六年生が手づくりでつくってくれたぶたじる。水でぬれてさむかったからおもしろかった。

はか多小の山がはしる。五年生のぼくのおにいちやんが山をかく。二年生のぼくは先ばしりて山をよぶ。

山をかけたおにいちやんのかたは、赤くていたそうだった。ぼくも足がいたくて、きつかった。でも、お友だちと手をつないでいたから、はしれた。がんばれた。

近じよのお肉やさんのおじちゃんがいこをたたいてくれた。えんどうの人たちもおえんしてくれた。おじいちゃんとおばあちゃんたちもおえんしてくれた。すごくうれしかった。

はか多小まではしりぬけた子ども山。さいごまではしりおえたあとにみんなでたべたぶたじる。すくおもしろかった。

野球

●赤間小学校5年

菰口 隼

野球が好きでも打てない

野球が好きでも足が遅い

野球が好きでもうまく捕れない

野球が好きでも肩が弱い

野球が好き

野球が好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

野球が大好き

私の好きな部活

●照葉中学校2年

今里 茉央

私はバツテリーを読んで、人から信じてもらえるのは大切なことなんだと分かった。本を読むと話の中の主人公になれるだけでなく、その主人公の気持ちに分かり、自分の生活にあてはめたりもすることができると知った。今までの部活では、パスがくるのはパスをつながないと負けるからあたりまえだと思っていた。しかし、本を読んで考えが変わった。パスがもらえるのは、信じてもらっているということなのだから、その期待に応えるために、もっと練習を頑張ろうと思った。

このように、本を読むと自分の生活に当てはめて考えることができる。これから、どんな本に興味をもつか分からないが、たくさん本を読んで自分の生活に活かしていきたいと思う。これからもたくさん本を読んでいきたい。

イントだと思いません。前、スケッチの練習に行ったとき、石の色をグレーだけでぬってしまつたら、緑や青、茶色などの自然的な色から石の色だけういてしまつて、おかしな絵になってしまいました。そこで先生から、

「グレーの上から、ページェンとうすピンクとかの周りの色を入れると、統一感が出て色がなじみますよ。」と、教えてくれました。そのときの作品は、時間ギリギリだったのので、大会では、よゆうをもち、色の工夫もして、審査員の目にとまるようないい作品を描きたいです。

そして、私は今学期から、部長になりました。去年の部長は、責任感が強くて、すごく絵が上手な人でした。「私もそんな部長になりたいな。」

と思うけどとても不安です。今まで、学級委員に一度だけなつたことがあるだけで、前に出ることが苦手です。部長は、部活のときや集会などで臨機応変に行動し、代表で話したりすることがたくさんあります。これを機に前で話すことに慣れて、みんなから信頼されるいい部長になりたいです。また、立派な賞をとれるような、作品を描けるようにこれからも努力したいです。

次は絶対やつてやる

●香椎第3中学校2年

松野 裕香

「女子バレー部部长、松野裕香。」

私はこの言葉を言われたとき喜びと感謝でいっぱいでした。それから、次は絶対やつてやるという強い気持ちでした。私は小学生のときドッチボールのクラブチームでキャプテンをしていました。自分のためでもあるけど、練習にも試合にも毎日必ず来てくれていたお母さんに恩返しとaying 思いで必死に頑張つてキャプテンになりました。

でも、次の日が自分たちの最初の練習試合というときに私は右ひじを複雑骨折し手術しました。その四ヶ月後には二年生から頑張つてきた校区のドッチボールの大会がありました。

お医者さんには、「普通の生活にもどるのに半年、スポーツできるようなになるのは一年かかる。」と言われました。私は悔しくて病室で毎晩泣いていました。お母さんも一緒にたくさん泣いてくれました。でも私はどうしても四ヶ月後の大会には出場したくて必死にリハビリもしました。退院後、お医者さんには秘密で練習に参加しました。痛みもひどく、ボールのいきおいもなくてすごく

ばあちゃん

●箱崎清松中学校3年

森川 亜美

私のばあちゃん家はとても私の家から近いところにありました。私の両親は共働きで父は忙しい人だったので、私は保育園生の頃からばあちゃん家に行っていました。小学生の頃になると、父が帰ってくる土日だけは家で過ごしていました。平日はばあちゃん家に泊まりっぱなしだったので、家で過ごすよりもばあちゃん家の居心地がよくなりました。

中学生になると自然に部活や塾、習い事などで夜遅くに帰るようになったので、迷惑にならないように、私はばあちゃん家に行かなくなり、ばあちゃんとも会う日が少なくなりました。

そんな時にばあちゃんと殴り合いのようなケンカをしてしまい、母からしばらくばあちゃん家には行かないよう注意をされていたので私は全くばあちゃんとは会わず三ヶ月が過ぎました。

そんなある日にばあちゃんが目の手術を受けたことを聞いた私は母に

「お見舞いに行ってください。」と言われましたが、結局勇気が出ずに私はお見舞いに行くことが出来ませんでした。それから一ヶ月後の私の誕

生日にばあちゃんがやってきて、私に誕生日プレゼントをくれました。でも私はまたばあちゃんにお礼を言うことが出来ませんでした。するとまた母が、

「ばあちゃん家に行つて早くお礼を言って来なさい。」と言われたので今回は渋渋はあちゃん家に行きました。ばあちゃん家に行きました。ピンポンを押すとばあちゃん少しびっくりしていました。すぐにはあちゃん家へ行ってくれ、お菓子をたくさん出して笑顔で迎えてくれました。それでも私はお礼を言うことは出来ませんでした。

その日以来ばあちゃんは夕飯に誘ってくれるようになり、しばらくすると毎日のようにばあちゃん家で過ごすようになりました。

今では、小学生のときのようには学校から帰るとばあちゃん家から泊まるとばあちゃん家から登校するようになりました。

私の大好きなもの

●箱崎清松中学校3年

吉原 枝里

私は家族が大好きである。いつもご飯を作ってくれたり、家事をしてくれる元気な母。朝早くから夜遅くまで仕事を頑張つてくれる父。部活に勉強いつも一生懸命な姉。皆に元気をくれる家族のアイドル妹。そして私。

また悩んでいるときは皆と一緒に悩んでアドバイスをくれる。

私は排球部の部長だった。排球部は、個性豊かな人がたくさんいてよく問題を起こし、色んな人に迷惑をかけそれ以上で支えてもらった。特に支えてもらったのは家族だった。部長である私の指示も聞かず迷惑をかけ続ける姿に心が折れた日々も多々あった。最後まで支えてもらうばかりで恩返しができず、部活動が終わった。どんなときでも絶対に見捨てたりせず最後まで支えてくれて感謝の気持ちでいっぱいである。

生んでくれてありがとう。育ててくれてありがとう。家事をしてくれてありがとう。注意してくれてありがとう。まだまだたくさんありがとう。今、思春期でたくさん反抗してけんかすることもよく

つらかったです。それでもドッチをしたのは、毎日私を見に来てくれたお母さんの首に金色のメダルをかけてあげたくて一生懸命でした。本番は私はボルトをいれたままエースとして試合に出ることができました。結果は三位で金メダルをかけてあげることができました。クラブチームの方は少しボールも重く無理すぎたため、やめないといいなくなりました。すごく悔しくてチームの人、お母さんにもうしわけなかったです。こうやって私はいつも大切なときに、あと一歩というときにつかむことができません。だから中学ではどうしてという想いで今まで以上に全力で頑張りました。

たくさん挫折や壁、思いがあつてやっとキャプテンになりました。その喜びは何ものにもかえられないすばらしいものでした。今日から私の新しいバレー生活のスタートです。

小学生でつかめなかったものを悔いのないように全力でつかんで、最初の目標の市民総合新人戦、市大会出場目指して頑張ります。必ずいいキャプテンになってチームを引っ張つていきたいです。そしてお母さんに金メダルをかけてあげたいです。

あるけど私は、家族が大好きだ。

母は、これからも家事に仕事大変だと思うけど頑張つてください。また、母も体を動かすこともあるからけがには気をつけてね。体調を崩さないようにしてください。いつもありがとう。これからもよろしくお願います。

父は毎日朝早くから夜遅くまで仕事お疲れさまです。つかれているのに、私の話をきいてくれてありがとう。これからも仕事頑張ってください。これからもよろしくお願います。

姉は、今、部活に勉強といつも早くから高校にいて一生懸命頑張つていてかっこいいと思います。これからも部活に勉強頑張つてね。いつもありがとう。これからもよろしくお願います。

妹は、いつも元気で家族を笑顔にしてくれる、家族のアイドルだね。これからも母のお手伝いをして、母を支えようね。いつもありがとう。これからもよろしくお願います。

いつもみんなに囲まれて楽しくて、幸せだからこれからもよろしくお願います。いつもありがとう。私も支えてもらっているばかりだから、次は受験に向けて頑張るから、また支えてください。家族大好き。